

平成 16年度大規模新規研究開発の評価について (案)

1. 評価対象及び評価検討会

ゲノムネットワーク研究

【文部科学省】

概算要求額：80億円

全体計画：400億円

ヒトゲノムの塩基配列が解読され、今後のゲノム研究が機能解明を中心とした本格的国際競争の段階に入ることにかんがみ、国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から、新たに開始が予定されているゲノムネットワーク研究の評価を行う

評価においては、ゲノムネットワーク研究の戦略的推進について、その必要性、効率性、有効性等を検討する。

評価検討会

《総合科学技術会議 有識者議員》

井村 裕夫

黒田 玲子

《評価専門調査会 専門委員》

座長 大石 道夫 財団法人かずさDNA研究所長

鈴木 昭憲 秋田県立大学長

《招聘者》

検討中 (5～6名程度)

第 1回評価検討会 (予定)

9月 16日 (火) 17:00～19:00 【第 3特別会議室】

南極地域観測事業

【文部科学省】

概算要求額：114億円

全体計画：未定（継続事業のため）

南極観測船「しらせ」の後継船の建造（総額399億円）及び現有ヘリコプターの後継機の調達（総額120億円）が新たに予算要求されたのに際し、国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から、南極地域観測事業の評価を行う。

評価においては、後継船建造及び後継機調達に関する計画はもとより、これまでの南極地域観測事業の成果及び今後の展開について、その必要性、効率性、有効性等を検討する。

評価検討会

《総合科学技術会議 有識者議員》

薬師寺 泰蔵

《評価専門調査会 専門委員》

座長 市川 惇信 東京工業大学名誉教授

加藤 伸一 トヨタ自動車株式会社相談役

馬場 錬成 科学ジャーナリスト

《招聘者》

検討中（5～6名程度）

第1回評価検討会（予定）

9月22日（月）10:00～12:00 【643会議室】

アルマ計画

【文部科学省】

概算要求額：11億円

全体計画：256億円(建設費)+30億円/年(運用費)

国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から、新たに開始が予定されているアルマ計画(アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計の建設及び観測)の評価を行う。

評価においては、アルマ計画について、国際共同プロジェクトであること及び本計画が我が国天文学に占める位置付けにも留意しつつ、その必要性、効率性、有効性等を検討する

評価検討会

《総合科学技術会議 有識者議員》

大山 昌伸

《評価専門調査会 専門委員》

座長 畚野 信義 国際電気通信基礎技術研究所社長

江崎 玲於奈 芝浦工業大学長

増本 健 電気磁気材料研究所長

《招聘者》

検討中(5~6名程度)

第1回評価検討会(予定)

9月17日(水)9:00~11:00 【743会議室】

先端計測分析技術・機器開発事業

【文部科学省】

概算要求額：100億円

全体計画：当面5年間で500億円（その後の計画は未定）

世界をリードする独創的研究開発を進めるために新たに競争的研究資金制度として開始が予定されている先端計測分析技術・機器開発事業について、国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から評価を行う。

評価においては、関係府省（経済産業省等）における計測分析等に係る技術開発及び機器（医療関係を含む）開発の取組みに留意し、我が国全体の競争力強化を念頭に置きつつ、先端計測分析技術・機器開発事業について、その必要性、効率性、有効性等を検討する。

評価検討会

《総合科学技術会議 有識者議員》

阿部 博之

松本 和子

《評価専門調査会 専門委員》

座長 国武 豊喜 北九州市立大学副学長

大見 忠弘 東北大学未来科学技術共同研究センタ

ー客員教授

《招聘者》

検討中（5～6名程度）

第1回評価検討会（予定）

9月18日（木）16:30～18:30 【643会議室】

第3次対がん10か年総合戦略」に基づく研究開発

【厚生労働省・文部科学省】

概算要求額：75億円＋運営費交付金等

(厚生労働省：50億円、文部科学省：25億円＋運営費交付金等)

全体計画：未定(10年間の計画が未定のため)

第3次対がん10か年総合戦略」の開始に際し、国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から、本戦略に基づき実施される研究開発の評価を行う。

評価においては、本戦略に基づき継続及び新規で平成16年度より実施される研究開発はもとより、これまでの「がん克服新10か年戦略」の目標達成度及び継続実施される「がん研究助成金」との連携・役割分担、さらに「第3次対がん10か年総合戦略」に基づき平成17年度以降に実施する研究開発の方向性について、その必要性、効率性、有効性等を検討する。

評価検討会

《総合科学技術会議 有識者議員》

井村 裕夫

座長 黒川 清

《評価専門調査会 専門委員》

谷口 維紹 東京大学大学院医学系研究科教授

藤野 政彦 武田薬品工業株式会社相談役

《招聘者》

検討中(5～6名程度)

第1回評価検討会(予定)

9月18日(木)9:00～11:00 【643会議室】

2.調査・検討項目

評価検討会においては、以下の項目について調査・検討する。

- A. 科学技術上の意義
当該研究開発の科学技術上の目的・意義・効果。
- B. 社会・経済上の意義
当該研究開発の社会・経済上の目的・意義・効果。
- C. 国際関係上の意義
国際社会における貢献・役割分担、外交政策との整合性、及び国益上の意義・効果。
- D. 計画の妥当性
目標・期間・資金・体制・人材や安全・環境・文化・倫理面などからの妥当性。
- E. 成果、運営、達成度等
投入資源に対する成果、運営の効率性、及び目標の達成度等。評価結果の反映状況の確認等。

ただし、Eについては、新規研究開発であることから、その内容を考慮。

3. 検討スケジュール

9月11日(木)	評価専門調査会 ・評価対象、担当議員・委員、進め方を確認
9月16日(火) ～9月22日(月)	第1回評価検討会 ・ヒアリング、追加質問と論点候補の抽出 追加質問を回収し府省へ対応を発注
10月1日(木) ～10月8日(水)	第2回評価検討会 追加ヒアリング、論点整理 評価コメントを回収し中間報告原案を作成
10月15日(水)	評価専門調査会 ・中間報告(案)の検討
10月～11月	総合科学技術会議 ・中間報告(案)に基づく審議 } 必要に応じ第3回評価検討会
11月～12月	評価専門調査会 ・評価報告書(案)の検討
12月	総合科学技術会議 ・評価報告書(案)に基づく審議・結論